

授業科目

運動学実習

【担当教員名】 大西秀明、大山峰生	対象学年	2	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【概要】  
運動学の講義に基づき、視覚および各種計測機器を用いて身体運動を計測し、分析、記載する。

- 【学習目標】
1. 体表から骨を触知できる。
  2. 視覚により身体運動を分析し記録する。
  3. 関節トルクを計測できる。
  4. 筋収縮と関節トルクとの関係を説明できる。
  5. 筋電図装置を用いて筋活動を導出できる。
  6. 種々の身体運動を分析し、まとめることができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・担当教員
1	生体の観察，計測Ⅰ	1	実習 大山、大西
2	生体の観察，計測Ⅱ	1, 2	実習 大山、大西
3	関節トルクの計測	3	実習 大山、大西
4	筋の長さ と筋力との関係	4	実習 大山、大西
5	筋収縮様式と筋力との関係	4	実習 大山、大西
6	筋電図Ⅰ	5	実習 大山、大西
7	筋電図Ⅱ	5	実習 大山、大西
8	運動分析Ⅰ	6	実習 大山、大西
9	運動分析Ⅱ	6	実習 大山、大西
10	運動分析Ⅲ	6	実習 大山、大西
11	運動分析Ⅳ	6	実習 大山、大西
12	課題研究Ⅰ	1~6	実習 大山、大西
13	課題研究Ⅱ	1~6	実習 大山、大西
14	課題研究Ⅲ	1~6	実習 大山、大西

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書				
参考書	計測法入門	内山靖・他編集	協同医書出版	2001年 5500円
その他の資料				

【評価方法】 実習態度，レポート，口頭試験	【履修上の留意点】 受講にあたり、骨、筋、神経系を中心とした解剖学的知識が要求される。 Tシャツ・短パンの上にジャージ等を着用して授業に参加すること。
--------------------------	---